## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月2日

上場会社名 塩水港精糖株式会社

上場取引所 URL http://www.ensuiko.co.jp 東

コード番号

2112

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 成克

表 問合せ先責任者 (役職名)

者

常務取締役

(氏名) 小田 俊一

(TEL) 03-3249-2381

四半期報告書提出予定日

配当支払開始予定日

2024年2月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	l益	経常利	益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24, 032	13. 3	1, 016	85. 1	1, 694	202. 0	1, 247	256. 7
2023年3月期第3四半期	21, 208	10.0	549	△22. 9	560	△17.9	349	△18.3
(注) 包括利益 2024年3月	助笙3四半期	1 824	百万円(192	8%) 202	3年3日期第1	3 四半期	623百万日	円(109 7g

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2024年3月期第3四半期	45. 64	_
2023年3月期第3四半期	12. 83	_

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26, 233	12, 732	48. 5
2023年3月期	25, 877	11, 028	42. 6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,732百万円

2023年3月期 11,028百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭		
2023年3月期	_	0.00	_	5. 00	5. 00		
2024年3月期	_	0.00	_				
2024年3月期(予想)				9. 00	9. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭、記念配当 3円00銭、特別配当 1円00銭 配当予想の修正については、2024年1月24日に公表いたしました「剰余金の配当(特別配当による増配)及び創業 120周年記念配当の実施に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利:	益	親会社株主 する当期級	に帰属 記利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31, 000	10. 9	1, 470	136.0	2, 030	177. 4	1, 400	180. 9	51. 33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、2024年1月24日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照 ください。

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	35, 000, 000株	2023年3月期	35, 000, 000株
2024年3月期3Q	7, 620, 678株	2023年3月期	7, 696, 677株
2024年3月期3Q	27, 340, 908株	2023年3月期3Q	27, 264, 405株

#### 発行済株式数に関する注記

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	7
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴う社会経済活動の正常化から需要は回復基調にあるものの、日米金利差による円安進行や不安定な国際情勢によるエネルギー価格の高止まり等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員及びその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

#### ①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限、1ポンド当たり)において22.35セントで始まり、期初より原糖の供給懸念を背景とした投機筋による買いで相場の上昇が続き、27セント台をつけるなど高値圏で推移しました。また、ブラジルにおける増産見通しから一旦は調整する場面が見られたものの、インドなど主要生産国での干ばつの影響による減産予測から需給の引締りが懸念され相場は再び上昇、11月上旬には12年ぶりの高値28.14セントをつけました。その後はブラジル中南部の生産量が予想を大幅に上回るなど供給懸念の後退を受けて下落に転じ、結局20.58セントで当第3四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格(日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり)は、期初227円~229円で始まりましたが、海外粗糖相場の高騰や急激な円安の影響を受けた結果、7月に239円~241円に上昇し、そのまま当第3四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売では、期初より物価上昇による消費マインドの低下から家庭用・業務用製品いずれも低調に推移、その後一定の需要回復の動きが見られたものの挽回にまで至らず、数量ベースでは低調に推移しました。一方、実勢を踏まえた適正価格での販売に努めた結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は22,552百万円(前年同四半期比14.1%増)、セグメント利益は1,571百万円(前年同四半期比58.7%増)となりました。

## ②バイオ事業

オリゴ糖部門は、「オリゴのおかげ」シリーズのさらなる拡販に向け、8月よりメインキャラクターとして美容家のIKKO氏を起用、CMをはじめ各種媒体を通じ積極的な広告宣伝活動を行いましたが、前期はTV特需等の影響を受け、大きく販売伸張したこともあり、売上高は前年同四半期を下回りました。

サイクロデキストリン部門は、一部ユーザー向け製品の販売が好調であったため、売上高は前年を上回りました。

ビーツ部門は、ECサイトでの販売を中心に展開し、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は1,450百万円(前年同四半期比3.0%増)、原材料コスト等の上昇に伴いセグメント利益は325百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

#### ③その他

その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました 結果、売上高は101百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益は56百万円(前年同四半期比20.6%増) となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,032百万円(前年同四半期比13.3%増)、営業利益は1,016百万円(前年同四半期比85.1%増)、経常利益は1,694百万円(前年同四半期比202.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,247百万円(前年同四半期比256.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

#### ①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて240百万円増加し、8,928百万円となりました。これは主に、現金及び預金が109百万円、商品及び製品が72百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が415百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて115百万円増加し、17,305百万円となりました。これは主に、有形固定資産が277百万円、繰延税金資産が278百万円減少し、投資有価証券が672百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて356百万円増加し、26,233百万円となりました。

#### ②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,347百万円減少し、13,501百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が136百万円、長期借入金が883百万円減少したことによるものであります。

## ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,703百万円増加し、12,732百万円となりました。これは主に、利益 剰余金が1,097百万円、その他有価証券評価差額金が582百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年1月24日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 212	2, 103
受取手形及び売掛金	2, 012	2, 428
商品及び製品	1, 395	1, 323
仕掛品	206	213
原材料及び貯蔵品	1,670	1,633
その他	1, 190	1, 226
流動資産合計	8, 688	8, 928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10, 211	10, 225
減価償却累計額	△7, 630	△7, 775
建物及び構築物(純額)	2, 580	2, 450
機械装置及び運搬具	12, 257	12, 372
減価償却累計額	△10, 522	△10, 724
機械装置及び運搬具(純額)	1,735	1, 648
工具、器具及び備品	425	422
減価償却累計額	△379	△381
工具、器具及び備品(純額)	45	40
土地	5, 234	5, 234
建設仮勘定	93	39
有形固定資産合計	9, 690	9, 412
無形固定資産		
ソフトウエア	19	13
その他	6	6
無形固定資産合計	25	19
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 221	5, 893
長期貸付金	1, 511	1, 532
繰延税金資産	648	370
その他	92	75
投資その他の資産合計	7, 473	7, 872
固定資産合計	17, 189	17, 305
資産合計	25, 877	26, 233

1331	/		_	_	$\neg$	
(単	17	•	m	$\vdash$	円)	1
( = 1	11/.			/.1	1 1/	

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 176	1,039
短期借入金	4, 800	4, 400
1年内返済予定の長期借入金	1,872	2,000
未払法人税等	107	180
未払消費税等	75	124
賞与引当金	65	30
その他	1,063	924
流動負債合計	9, 159	8, 699
固定負債		
長期借入金	5, 156	4, 273
退職給付に係る負債	300	295
その他	232	233
固定負債合計	5, 689	4, 802
負債合計	14, 849	13, 501
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	12, 448	13, 546
自己株式	△2, 946	△2, 916
株主資本合計	11, 493	12, 620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△433	149
繰延ヘッジ損益	$\triangle 1$	$\triangle 4$
退職給付に係る調整累計額	△30	△33
その他の包括利益累計額合計	△464	111
純資産合計	11,028	12, 732
負債純資産合計	25, 877	26, 233

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	21, 208	24, 032
売上原価	18, 418	20, 703
売上総利益	2, 790	3, 329
販売費及び一般管理費	2, 241	2, 312
営業利益	549	1,016
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	126	790
その他	31	10
営業外収益合計	179	825
営業外費用		
支払利息	66	70
持分法による投資損失	95	68
支払手数料	5	5
その他	0	3
営業外費用合計	168	148
経常利益	560	1, 694
特別利益		
投資有価証券売却益		1
特別利益合計		1
税金等調整前四半期純利益	560	1, 695
法人税、住民税及び事業税	177	423
法人税等調整額	33	24
法人税等合計	211	448
四半期純利益	349	1, 247
親会社株主に帰属する四半期純利益	349	1, 247

# 四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円)_
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	349	1, 247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279	580
繰延ヘッジ損益	$\triangle 3$	$\triangle 2$
退職給付に係る調整額	$\triangle 1$	$\triangle 1$
持分法適用会社に対する持分相当額	$\triangle 0$	$\triangle 0$
その他の包括利益合計	273	576
四半期包括利益	623	1,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	1,824

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
  - 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

					(+14.	<u>. 🗆 // 🗆 /</u>
		報告セク	調整額	四半期連結 損益計算書		
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計	(注1)	計上額 (注2)
売上高						
顧客との契約から生じる収益	19, 747	1, 372	_	21, 119	_	21, 119
その他の収益(注3)	_	_	88	88	_	88
外部顧客への売上高	19, 747	1, 372	88	21, 208	_	21, 208
セグメント間の内部売上高又 は振替高	21	35	12	69	△69	_
計	19, 768	1, 407	100	21, 277	△69	21, 208
セグメント利益	990	354	46	1, 391	△841	549

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
  - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等であります。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
  - 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

		報告セク	調整額	四半期連結 損益計算書		
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計	(注1)	計上額 (注2)
売上高						
顧客との契約から生じる収益	22, 531	1, 411	_	23, 943	_	23, 943
その他の収益(注3)	_	_	89	89	_	89
外部顧客への売上高	22, 531	1, 411	89	24, 032	_	24, 032
セグメント間の内部売上高又 は振替高	20	38	12	71	△71	_
計	22, 552	1, 450	101	24, 103	△71	24, 032
セグメント利益	1, 571	325	56	1, 952	△936	1,016

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
  - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等であります。